

第1回大野市総合教育会議 会議録

日 時：平成28年7月21日（木）午後3時～4時20分

場 所：大野市役所 談話室

第1回大野市総合教育会議次第

日時：平成28年7月21日(木)午後3時

場所：市役所 談話室

1 開会

2 協議

(1) 大野市小中学校再編計画(案)について

・・・資料

(2) 今後のスケジュールについて

3 その他

<出席者>

	市 長	岡 田 高 大
	委員長	洞 口 幸 夫
	職務代理者	清 水 美 那 子
	委 員	山 川 秀
	委 員	妙 願 貴 子
	委 員	松 田 公 二
事務局（説明者）	企画総務部長	田 中 雄 一 郎
	企画財政課長	清 水 啓 司
	教育長（再掲）	松 田 公 二
	事務局長	小 川 市 右 工 門
	教育総務課長	木 戸 口 正 和
	学校教育審議監	道 鎮 栄 一
（書 記）	教育総務課課長補佐	山 田 靖 子

1 開会

【教育総務課長】本年度第1回大野市総合教育会議を開催させていただきます。
会議が始まる前に、市民憲章と教育理念の唱和をお願いします。

——<市民憲章と教育理念の唱和>——

教育総務課長主唱

それでは、市長の挨拶をお願いします。

【市長】本日第1回目の総合教育会議を開催させていただいたところ、教育委員の皆さんにはご出席ありがとうございます。

総合教育会議は、教育委員会部局市長部局が調整する場となっており、今回、小中学校再編計画（案）の策定に向けて、忌憚のないご意見をいただき、また申し上げるべきことは申し上げさせていただきたいと思います。

大変重要な会議であると認識していますので、よろしく願いしまして、開会のあいさつとさせていただきます。

【教育総務課長】これからの進行は、設置要項に市長が議長となると規定しているので、市長、よろしくお願いします。

2 協議

【市長】では、協議に入ります。小中学校再編計画（案）について、事務局の説明を求めます。

【教育委員会事務局長】では、資料に基づき説明します。

——<小中学校再編計画（案）について 説明>——

【市長】何か質問や確認することはありますか。

【事務局長】字句の訂正をさせてください。5頁の本文、最終行の「事例も」を「事例が」に修正します。

【市長】資料2の今後の推計出生者数の表で、平成50年の大野市人口ビジョンにおける目標出生者数は、272人となっているが、それで中学校の生徒数を考えると、約800人となるが、何クラスになるのか。

【学校教育審議監】1学年9クラスとなります。

【市長】大野市人口ビジョンの目標値まで子どもが増えた場合、中学校の校舎の建築費は、計画案のこの予算で足りるのか。人口ビジョンの目標値も想定して、建築費を算出しないとつじつまがあわない。

40人学級なら7クラス、福井県では1クラス定員35人と言っているのか。

増えたときは、増築できるように準備しておく必要がある。

【委員長】確かに、将来のことはどうなるか分からない。子どもが増えたときは増築

で考えればいいと思います。

【清水委員】難しいところですね。子ども達が増えれば嬉しいことですが。

【市長】4頁の表5、これらの免許所有教員は、それぞれ1人ずつの配置か。再編後の配置も1人ずつか。

【教育長】はい。例えば音楽の教科では、授業が週1時間程度なので持ち時間数の合計が、1人で十分です。

【学校教育審議監】付け加えて、1人は確実に確保され、1.5人配置（1人が2校兼務）ということも考えられます。現在、丸岡中学校がそのような配置になっています。

【市長】14頁、3行目「地域の活性化が図られる」とあるが、再編計画でこれをいうのか。

【教育長】差額の124億円、教育環境を優先していただき、地域の活性化にも配慮するという意味で、書かせていただいた。

【市長】124億円といっても、10年～13年くらいの間を生じるお金の差額である。

【事務局長】経費を浮かせるための再編ではないので、大まかな数字として触れさせていただいた。

【市長】地域の活性化は、再編計画とは関係ない。ここでうたうべきではない。再編が地域の活性化につながるものでもない。

【企画総務部長】差額を新たな行政需要に使えるという意味ではないですか。

【市長】地域の活性化を削除して、「教育環境の充実が図られる」としたほうがいいのではないか。「新たな」という言葉は不要。

また、「思慮します」という表現もどうか。

【委員長】「思慮」は注意深く考えるという意味。「思料」は、あれこれ思いをめぐらすという意味。先日、定例会で議論し、「思慮」のほうがいいだろうということになりました。

【市長】再編計画が地域の活性化に結びつくというのは、おかしい。そこ、もう少し考えてはどうか。124億円の差額が出ると書きたいのか。

【教育長】今後、文化会館の建築など財政的に厳しくなることも考えて、新築による財政の負担は少なくなることを理解していただくため、参考として記載しました。

【市長】学校は、今、建築しないともうできない。今しかできない。耐用年数がきている為、老朽化した学校より、新しい丈夫な学校を建てないといけない。建てずに我慢して、10年後には、このような計画ができるかどうか分からない。そのときはとても苦勞することになる。

【教育長】地区の区長会などでも、そのようなことを強調していただけるとありがたいです。

【市長】9月以降の「市長と語る会」では、そういう話もしたい。

ところで、山川先生、再編による学校医の影響はどうなりますか。

【山川委員】どうなるのか、考えているところです。今でも大きい学校、例えば南小学校は、内科医2人と外科医1人配置しているので、たぶんそのようなことになるだろうと思います。

14頁、「124億円」の記載は、私も取ったほうが良いと思います。

【教育長】「教育環境の充実や地域の活性化」を「教育、福祉などの充実」に変えてはどうですか。

【市長】14頁には、何も記載しないほうが良い。文章にするより、口頭で「高齢化が進むなど、いろいろな行政需要に対応する」と説明してはどうか。

【企画総務部長】「今後、多様化、複雑化する行政需要に的確に対応するため」としてはどうですか。

【委員長】「建築費でかなりの差が生じます」として、差額の今後の使い方はわからないので、明記しないほうが良いのではないですか。

【市長】建築費の試算も、平成28年度単価で試算している。委員長の言うとおりに、変更したほうが良いのではないか。

【教育長】14頁、表12も削除したほうが良いですか。

【市長】表はそのまま載せれば良い。

新しいものを建てるわけではない。15校目を建てるわけではなくて、今ある学校が耐用年数がきたので、更新するだけである。

【教育長】124億円と書くと、大きなお金が残ると誤解を招くかもしれない。「かなりの差額が生じる」としたほうがよいと思います。

【企画総務部長】整備コストだけしかかかれていないが、新築3校のランニングコストについては、書かれていないが、どうですか。

【教育長】建築費の比較のほうが分かり易いと思い、建築費だけ載せました。ランニングコストも資料として持っておきたいと思います。

【市長】洞口委員長のおっしゃった言葉でいいのではないか。13頁の本文の続きに、「相当の差が生じます」で止めておいたほうが良い。質問が出たら、「多様化、複雑化する行政需要に的確に対応するために」と、口頭で答えれば良い。

他に質問はありませんか。

質問がなければ、再編計画（案）の字句の訂正がいくつかありましたが、事務局に任せるということでよろしいですか。

———<一同 了承>———

では、次、2番目の今後のスケジュールについて、事務局の説明を求めます。

【教育総務課長】

———<スケジュール 説明>———

【教育長】8月25日に再度、総合教育会議を招集していただきたい。そこで（案）を確認し、定例教育委員会で決定していきたい。

【市長】そのように日程調整をするように。

平成29年度は、整備基本構想を策定するため、庁舎整備のときと同じように策定委員会を作って、そこで、いくつか建設候補地を出してもらって、場所が決まる。

文科省の補助金はどれくらい出るのか。

【教育総務課長】補助率1/2ですが、単価と面積で基準が定まっているため、実質2割程度となると思われます。

【市長】私も、国へ働きかけを行っている。県からも補助してもらえるといい。

【教育長】学校は、設置者が市町なので、なかなか難しい。ただ、県の単独予算で、講師が加配されます。

【市長】「再編の時期まで待てない、計画より先に再編させて」という学校が出てくるかもしれない。

【教育長】学校全体の意向なら、受入れしていきたいと思います。

【市長】他に、ご意見はありますか。

事務局、何かありますか。

【事務局長】特にありません。

3 閉会

【市長】他になければ、本日はこの程度に留め、第1回大野市総合教育会議を終了します。ご苦勞様でした。

午後4時20分終了